

めがね橋

群馬県安中市



写真 アプトの道

めがね橋（正式名称：碓氷第三橋梁、表紙写真^{※1)}）は、群馬県安中市松井田町にある碓氷峠^{※2)}の中程に位置する鉄道橋である。碓氷川に架かる煉瓦造りの4連アーチ橋で、その美しい構造と芸術性から、秋は紅葉スポットとしても名高い。

1892（明治25）年、「信越本線新線」の横川駅-軽井沢駅区間を繋ぐ、日本初のアプト式鉄道^{※3)}を導入した碓氷線の橋梁として完成した。全長91m、川底からの高さ31m、使用された煉瓦は約200万個におよび、現存する煉瓦造りの橋の中では国内最大規模である。旅客輸送の他、富岡製糸場で生産された生糸の貨物輸送の用途にも利用された。

1997（平成9）年、碓氷線は新幹線などの交通網の発達に伴う廃線を余儀なくされた。現在めがね橋は、廃線跡を整備した遊歩道「アプトの道^{※4)}（写真）」からアクセスが可能である。

めがね橋をはじめとした「碓氷峠鉄道施設」は、日本の近代産業の発展に大きく貢献した建築技術の価値が認められ、1993（平成5）年に国の重要文化財に指定された。2024（令和6年）には、安中市により世界遺産を目指す方針が明らかにされた。

※1) 表紙写真 写真提供：ピクスタ tenjou / PIXTA（ピクスタ）

※2) 群馬県安中市松井田町と長野県北佐久郡軽井沢町との境にある標高956mの峠。

※3) 急こう配の線路を登り降りする「ラック式鉄道」のうち、複数のラックレールを設置するなどして噛み合わせの強度を高めた方式、開発者の名前にちなむ。

※4) アプト式鉄道の廃線敷を利用したハイキングコース。

■アクセス 観光帆曳船

- JR 信越本線横川駅からタクシー利用約15分、「アプトの道」経由で徒歩約1時間
- 上越自動車道松井田妙義ICから約25分

（表紙の写真）

めがね橋

場所：群馬県安中市

<参考>

安中市

<https://www.city.annaka.lg.jp/page/2018.html>